

# 川口市議会 9月定例会

## 共産党一般質問日程

9月3日より川口市議会9月定例会が開会しました。共産党は市民の声を議会に届け、命と暮らしを守るために頑張ります。ぜひ傍聴にお越しください。市ホームページにてインターネット中継もありますが、議場に来ていただくと議会の雰囲気等がよく分かります。

一般質問

9月16日(火) 10時

松本さちえ市議



9月の  
無料  
法律相談

◎日時 9月9日(火) 18時～

◎会場 日本共産党埼玉南部地区委員会事務所2階  
事前に電話予約の上、お越しください。なお、申し込みの際は氏名、電話番号をお伝えください。当日は筆記用具などをご持参ください。相談希望の方は党市議会議員、または下記電話までご連絡下さい。

主催：日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10 電話 048-267-8411

新川口

2025年9月7日 No.1804

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

## 9月市議会に日本共産党市議団が意見書案を提案

9月市議会を前に開かれた議会運営委員会に、日本共産党市議団は「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」案、「早急に消費税の減税をすることを求める意見書」案の2本の意見書を提案しました。

今号では「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の案文を紹介します。

### 「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」案

ロシアによる核威嚇、米国やNATO諸国の「核抑止力」強化と「使える核」としての核兵器近代化、東アジアでの核軍拡の動きなど、世界が核戦争の危険に直面しているいま、唯一の戦争被爆国として核兵器の使用と威嚇を決して許すことはできない。また、核兵器は「安全保障」に不可欠だとする「核抑止」論は断じて認められない。そもそも「核抑止」とは、いざとなればヒロシマ・ナガサキを再現することを前提にしたものであり、核兵器が非人道的結果をもたらしたことを認めながら「核抑止」に頼る対応は大きな矛盾である。

そうした中、被爆80年を迎えるにあたり、日本被団協がノーベル平和賞を受賞した。差別偏見を乗り越え、被爆の実相を伝え、核廃絶を訴え続けたことに光が当てられた。我が国、そして私たち国民は、積み重ねられてきた被爆者たちの心の叫びを思い起こし、核兵器を完全に廃絶するため、新たな決意で行動に立ち上がる必要があり「核兵器のない平和で公正な世界」への道を切り拓いていくことが求められている。そうした中、希望の光となっている核兵器禁止条約は開発、保有、使用、威嚇などを全面的に禁止し「核兵器は絶対に許されない兵器である」と明確に宣言したものであり、国際世論にも大きな影響を与えている。

本来、我が国は国連憲章に基づく国際秩序を再建・強化して、国々の対立・分断を克服する先頭に立つ必要があるが、その姿は「拡大抑止に関するガイドライン」の策定や核使用も想定した机上演習をくり返すなど、米国の核戦略への加担を深める状況にある。

戦後80年となるいまこそヒロシマ・ナガサキの「被爆の実相」をひろめ、核兵器の非人道性を告発して被爆者の願いとたたかいの歴史を受けつぎ、日本こそが核兵器廃絶の先頭に立つべきである。

よって、日本政府は、世界で唯一の戦争被爆国として一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定にもとづき、意見書を提出する。

知<sup>っ</sup>得<sup>情報</sup>

## リチウムイオン電池などが使用された製品の「回収ボックス」を公共施設に設置



環境省は、近年、廃棄物処理施設や収集運搬車両において、リチウム蓄電池及びリチウム蓄電池を利用した製品に起因する火災事故等が頻発に発生しており深刻な課題として、今年4月に各都道府県に対し「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策について」技術的な助言としたうえで管内の市町村に対し、周知徹底のお願いをする通知をしています。

現在、川口市はリチウムイオン電池の回収は、JBRC対象製品（リサイクルマークがある）は、近くのリサイクル協力店へ排出すること、JBRC対象外の製品は、金属端子部や電極にテープを張ってふさぐなど絶縁をし、透明の袋に入れ、金属類

の収集日に資源物ステーション出すようP R E S S 5 3 0や、広報かわぐちなどで市民に周知し回収しています。こうした取り組みに加え、新たに3か所の公共施設に回収ボックスを設置し、リチウムイオン電池等の分別回収及び適正処理を更に徹底していく取り組みを始めました。

### ●回収ボックスの設置場所について

- ①第一本庁舎1階 ②リサイクルプラザ1階 ③戸塚環境センター1階

### ●回収の対象製品について

- ①モバイルバッテリー ②携帯扇風機 ③リチウムイオン電池
- ④ニッケル水素電池 ⑤ニカド電池

### ●回収ボックスに入れる前の対応

金属端子部や電極が表面にあるものは必ずテープなどを張ってふさぎ絶縁をすること。

問い合わせ⇒資源循環課 電話 048-228-5370

## みんななかまバス 路線見直しに関する説明会が開かれます

### ●路線見直しに関する川口市の説明は？

川口市コミュニティバス「みんななかまバス」は、平成14年11月から運行を開始し、平成25年12月の旧鳩ヶ谷市循環バス「ミニは〜と」と統合以降、現在では6路線を運行しています。現在のルートは、見直しから5年以上が経過し、ルートの見直しや運行間隔の短縮等に関して、多くの要望が寄せられています。バス事業者を取り巻く環境としては、慢性的な運転手不足が全国的な問題となっているところですが、令和6年に運転手の長時間労働を防ぐための告示改正が行われたことで、人員不足が一層深刻化している状況です。川口市においても、運転手不足を理由とした路線バスの廃止や減便を伴うダイヤ改正が複数回行われており、対策を行わない場合はバスネットワークの維持自体が困難となる恐れがあります。こうした状況を踏まえ、市内全域のバスネットワークの維持のため運行の効率化を図りつつ、併せて、利用者の利便性向上等の現状の課題解決を図ることを目的として、コミュニティバス再編基本方針を策定のうえ、路線見直しを実施するものです。

### ●日本共産党川口市議団の提案は

- ★コミュニティバス「みんななかまバス」をもっと便利に
- ★国際興業や東武バスが実施している高齢者対象の「シルバーパス」に補助を
- ★バスだけでなくタクシー乗車に補助を ★歩道、自転車道など生活道路の整備を

みんななかまバス説明会

申込み不要(当日先着順)

9月20日(日)	10時~11時30分	中央ふれあい館	講座室1号
9月25日(木)	10時~11時30分	中央ふれあい館	講座室3号4号
9月26日(金)	10時~11時30分	鳩ヶ谷庁舎	大会議室
	14時~15時30分	神根公民館	会議室1号2号
9月27日(土)	10時~11時30分	上青木公民館	講座室1号
	14時~15時30分	芝市民ホール	大会議室
9月28日(日)	10時~11時30分	東川口駅前行政センター	会議室2
	14時~15時30分	新郷公民館	講座室1号
10月1日(水)	10時~11時30分	安行公民館	講座室
10月5日(日)	10時~11時30分	鳩ヶ谷庁舎	大会議室

※川口市HPに川口市コミュニティバス再編基本方針が掲載されています

お問い合わせは⇒川口市都市交通対策室 048-242-6350